

豊田西高・SS科学部



花火のような色とりどりの炎をつくり出したり、ドロツとした赤黒い液体をフラスコに集めたりする生徒たち。魔法使いが登場するファンタジー映画の一場面のようなが、SS科学部の部員たちが集う実験室の日常だ。

部には生物、化学、物理、数学の四つの班があり、生徒それぞれが興味のあるテーマで研究に取り組んでいる。生物班は豊田市内を流れる矢作川で外来生物を調査したり、物理班は人工的に風を起す装置を開発した

「理数教育」指定校、高まる人気



白衣姿で実験に取り組む部員たち
ち＝豊田市小坂町の豊田西高で

指定され、部に追い風が吹いた。

近年では、高校入学の志望動機が「科学部に入りたいから」という生徒もいる人気ぶりで、部長を務める二年梅村崇史さん（さむもその一人。「活動は自主性に任せられているので、やる気次第で思考力や発言力がどんどん鍛えられる」と話す。

顧問は理数系教諭八人と、サポート態勢も万全。生物班を担当する中村羊太教諭（やうた）は「現実には起きている問題と向き合

い、何が課題かを自分で見極める力を磨いてほしい」と見守る。二〇一三年、理数教育に力を入れる高校「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」になる。

（岸友里）